増毛町水道事業経営戦略(R3年度見直し)

団 体 名 : 増毛町

事 業 名 : 水道事業

策 定 日: 平成 30 年 10 月

計 画 期 間 : 平成 30 年度 ~ 令和 9 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給 水

供 用 開 始 年 月 日	昭和26年12月1日	計	画	給	水	人	П	5,500 人
法 適 (全 部・財 務)		現	在	給	水	人	П	3,516 人
・ 非 適 の 区 分	法適(全部)		収	水	量	密	度	0.41 千㎡/ha

② 施 設

水			源	☑ 表流水 , □ ダム	, 🗆 伏流水 , 🔲	地下力	k , 🗆	受水	. 🗆	その他	(複数選択可)		
施	#	n.	数	浄水場設置数	1	管	路		ZTL.	長		61.64	I
ル也	施 設 数		奴	配水池設置数	2	B	印		延	又		01.04	†m
施	設	能	力	4,770	m³∕∃	施	設	利	用	率		39.6	%

③ 料 金

料 金 改 定 年 月 日 (消費税のみの改定は含まない) 平成11年4月1日

(水道料金)

(/////////////////////////////////////	171 亚./					
	/	区 分		基本料金		超過料金
用	途		基本	2水量	料金	1 m³につき
家	事	,	1ヶ月	8㎡まで	2,200円	230円
営	業	用	"	10㎡まで	3,000円	280円
4	体及び	会社用	"	20㎡まで	4,800円	210円
鮮	魚 加	工 用	"	50㎡まで	12,000円	140円
機	械冷	却 用	"	100㎡まで	12,000円	130円
製	氷	用	"	50㎡まで	12,000円	200円
浴	場	用	"	100㎡まで	12,000円	140円
臨	時	用	"	10㎡まで	3,000円	300円
船	舶	用	IJ	1㎡まで	300円	300円

(量水器使用料)

口径	料	金
13mm	1ヶ月	400円
20mm	"	470円
25mm	"	490円
30mm	"	610円
40mm	"	700円
50mm	"	2,640円
75mm	IJ	3,300円

④ 組 織

○組織体制

上下水道課長-上水道係長 -主任技師-臨時職員(徴収)

施設担当係長

○年齢構成等

Mt. 1/4/6 (1	
20代	0人
30代	0人
40代	3人
50代	2人
60代	0人
合計	5人

(2) これまでの主な経営健全化の取組

料金改定により一般会計からの繰り入れを行わず、必要最小限の維持管理費により事業運営している。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

別添経営比較分析表参照 (令和元年度)

2. 将来の事業環境

(1) 給水人口の予測

過去の給水人口の推移により将来の給水人口を予測しており、令和9年度の給水人口は2,958人と予測している。

年 度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
給水人口(人)	3,655	3,584	3,516	3,430	3,346	3,265	3,186	3,108	3,032	2,958

(2) 水需要の予測

給水人口予測により用途別給水量を推計し、今後の水需要を予測している。 給水人口同様、水需要予測も年々減少している。

年 度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
年間配水量 (千m³)	719	723	690	674	657	641	626	610	595	581
年間有収水量 (千㎡)	539	537	532	519	507	495	483	471	459	448
有 収 率 (%)	75.0	74.3	77.1	77.0	77.2	77.2	77.2	77.2	77.1	77.1

(3) 料金収入の見通し

給水人口予測による用途別給水量を推計した水需要により、今後の水道料金収入を予測している。給水人口減少により、水道料金収入も年々減少している。

年 度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
水道料金収入 (千円)	123,082	121,945	107,472	106,870	118,203	117,092	115,992	114,902	113,822	112,753

(4) 施設の見通し

施設の老朽化度合

既に法定耐用年数(40年)を超えた管路が存在し、今後更に増加していく状況にある。今後、中長期的な更新計画を策定し、更新事業を実施する。

・施設の余剰能力の見通し

配水能力4,770㎡/日に対し、令和2年度実績は、日最大2,390㎡/日、日平均1,890㎡/日となっている。今後は人口減少に伴い配水量も減少し、余剰能力が増加することから、近接の簡易水道事業との統合を検討する。

(5) 組織の見通し

現在、増毛町定員適正化計画により職員数の削減や定員適正化に努めている。また、今後も積極的に事務事業の見直し、民間委託等を検討する。

3. 経営の基本方針

当施設は暑寒別川を水源とし、計画給水人口5,500人、配水能力は日4,770㎡となっている。

当水道事業経営は、過疎化による人口減少及び住民の節水意識の向上により、今後更に給水収益の減少が見込まれ、厳しい経営状況が予想される。そのため、 事務事業の見直し、徹底した経営の効率化に取り組み、安心で安全な良質の飲料水を安定的に供給することに努める。

4. 投資·財政計画(収支計画)

- (1)投資・財政計画(収支計画): 別紙のとおり
- (2)投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明
- ① 収支計画のうち投資についての説明

標施設等の更新は必要最低限とする。

- ・耐用年数を超えた配水管等の更新事業の平準化を図るため、施設等更新計画を策定する。
- ・量水器交換工事の他は、年間2百万円の修繕工事を計上する。

② 収支計画のうち財源についての説明

暦 人口減少等に伴い料金収入は減少するが、当面は一般会計からの繰り入れは行わず料金収入での健全経営に取り組む。

- ・水道料金収入は、給水人口予測による用途別給水量を推計した水需要により予測している。
- ・企業債(資本費平準化債を除く。)、繰入金、国庫補助等の収入は見込んでいない。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

- ・委託料は、検針及び料金徴収業務、水質検査業務等を委託し、人件費の削減を図る。
- ・修繕費は、機器等の定期的な点検補修の実施により、経費の削減を図る。
- ・職員給与費は、前年比1%増で計上している。

(3)投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

① 投資について検討状況等

民 (間 の PFI	資 ・	金· DBO	ノウの	ハ ヷ 導	う等入	の 活 等	用)	必要に応じ検討する。
施 (設・	設っこ	備ィー	の ナ イ	廃 ` う	止・	統グ	合)	浄水場の更新の際に、人口減少による給水量の減少に伴い、ダウンサイジング及び近接簡易水道事業との統合を検討する。
施(設 ス	· ~°	設ツ	備ク	のダ	合ウ	理ン	化)	施設・設備の更新時に現状に合わせた規模への合理化を図る。
施投	設 · 資	設	備の	り長	<i>寿</i> 平	命作準	上等	の化	既存の施設・設備の長寿命化に努め、投資の平準化に努める。
広				域				化	近隣自治体との広域化を検討する。
そ	0))	他	1	の	取	Į.	組	特にありません。

② 財源について検討状況等

料		金	現在、料金の改定予定はありませんが、今後、施設の更新等が決定した段階で料金改定を判断する。
企	業	債	当面、借り入れの予定はありません。
繰	入	金	一般会計からの繰入金はありません。
資産収	の有効活用等(*2)によ 入 増 加 の 取	こる 組	遊休資産はありません。
そ	の他の取	組	特にありません。

③ 投資以外の経費についての検討状況等

委		訊	á		料	料金徴収業務及び検針業務については既に民間委託としているが、更なる合理化を検討する。
修		綽	1		費	突発的な故障等が発生しないように、定期点検により計画的な修繕に努める。
動		ナ	J		費	電力自由化により、現在契約している電力会社以外との契約も検討する。
職	員	紿	ì	与	費	町長部局同様、人事院勧告を参考に決定している。
そ	Ø	他	Ø	取	組	特にありません。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

ı	経営戦略の事後検証、	令和3年度に見直しを行い、今後は適宜経営戦略の見直しを行う。
ı	更新等に関する事項	7 413 千尺に元旦して11 V 、7 1友は過且性音製帽の元旦して17 /。

経営比較分析表 (令和元年度決算)

北海道 増毛町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A9	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
_	53 94	85 66	5 360	

人口 (人)	面積(km²)	人口密度(人/km²)
4, 222	369. 71	11. 42
現在給水人口(人)	給水区域面積(km²)	給水人口密度(人/km²)
3, 584	13.00	275. 69

グラフ凡例

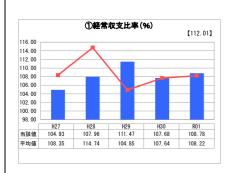
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

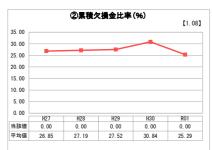
分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は平成9年度から100%を超え、累積欠損金比率は0%である。企業債務高は財政状況の悪化により更新事業を抑制していることから年々減少している。施設利用率は人口減少による給水量の減少から年々低下している。有収率は大規模な漏水はないものの、小規模な漏水については増加傾向にあり上昇に転じていない状況である。

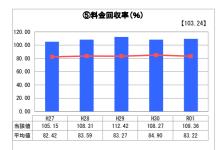
1. 経営の健全性・効率性



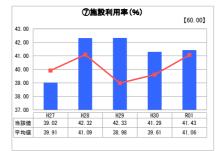










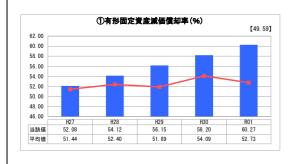


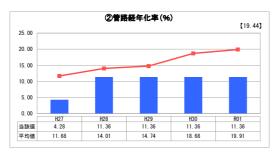


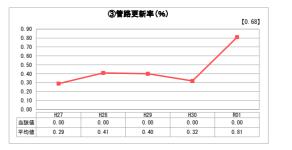
2. 老朽化の状況について

財政状況の悪化から更新事業を抑制しているが、法 定耐用年数を超えた管路等については、年々増加し ており今まで以上に適切な維持管理に努める。今後 は財政状況等を考慮し、計画的な更新事業を実施す る必要がある。

2. 老朽化の状況







全体総括

年々、絵水人口減少のため収益が減少傾向にあり、 経営状況は厳しさを増している。今後は料金改定を 視野に入れた様々な資金調達方法を検討し講じてい く必要があると考える、施設等の更新事業について は経営状況を考慮しながら、必要最低限の更新を実 施していく必要がある。

投資·財政計画 (収支計画)

(単位·千円 %)

収 (1) 月 金 収 入 125.652 125.014 (123.082 121.945 107.472 106.870 112.033 117.092 114.902 114.902 113.822 112.72												<u>立:千円,%)</u>						
□ 日本	年 度			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		1	i							
W (1) 月 金 (N A) 125.552 125.014 123.082 129.65 107.472 106.870 112.033 117.092 114.902 114.902 113.822 112.72		区	分				(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	本年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
W (1) 異 金 収 入 125.452			1. 営	業	収 益	(A)	126.194	125.690	126.383	122.552	108.184	107.270	118.603	117.492	116.392	115.302	114.222	113,153
京大 京 京 京 京 京 京 京 京 京		収																112,753
日本 (3) 元 (2) 元 (3) 元 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)		"					,	,			,	,	,	,	, , ,	,	,	,
Reg		益	(3) そ		の	他	742	676			712	400	400	400	400	400	400	400
## 日本	収	l	2. 営	業	外	収 益	15,915	15,107	14,432	14,344	27,525	26,306	9,877	8,277	7,513	7,374	7,364	7,369
世代のできまり、日本のでは、日本		的	(1) 補		助	金					13,185	13,700						
## A					他会計	片補助金												
N		収			その他	2 補助金												
No. 1	益	_		期前				15,106			14,340	12,606	9,877	8,277	7,513	7,374	7,364	7,369
1 第		入						1										
## 日本 10 10 10 10 10 10 10 1																		120,522
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本												, . – .						102,650
## (1997) 1997 19		IJ∇	(1) 職				34,722											41,929
## 14,666 13,283 20,454 15,358 15,309 15,808 16,600 16,278 16,040 16,2 ## 1724 1,729	的	7.			基	4		15,256	16,696	17,110	17,291	17,511	17,687	17,864	18,043	18,224	18,407	18,592
## 14,666 13,283 20,454 15,358 15,309 15,808 16,600 16,278 16,040 16,2 ## 1724 1,729					返 職			00.010	00.014	01.011	01.015	00.000	00.000	00.400	00.050	00.070	00.100	00.007
取		益	(0) & V		τ													23,337
大 で の 他 9,731 9,213 15,240 9,284 9,159 10,434 10,380 10,408 11,200 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10			(2) 程	i	計													
大 で の 他 9,731 9,213 15,240 9,284 9,159 10,434 10,380 10,408 11,200 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10	収	西			<u></u> 悠													
大 で の 他 9,731 9,213 15,240 9,284 9,159 10,434 10,380 10,408 11,200 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,640 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10,878 10,041 10		הם			材													100
大型 1					<u>17</u> ス													
大き 1		支	(3) 浦		- ,,,,,	力 患	63.906											
出 ① 支 払 利 息 18,433 16,537 14,706 12,863 10,971 9,125 7,235 5,415 3,928 2,635 1,641 9 1,050 2,000 2,200 2,200 2,200 2,300 2		ŀ				<u>却</u> 見	19 433		,									918
10 10 10 10 10 10 10 10	文	l l																918
支 出 計 (D) 131,629 126,313 130,771 125,846 125,629 120,249 113,473 107,967 106,225 104,542 103,719 103,556 18,134 17,867 16,956 18,134 17,867 18,134 17,867 18,134 17,867 16,956 18,134 17,867 18,134 17,867 18,134 17,867 16,956 18,134 17,867 18,134 17		ш					10,400	10,007	14,700		238	0,120	7,200	0,410	0,020	2,000	1,041	310
腰 常 損 益 (C)-(D) (E) 10.480 14.484 10.044 11.050 10.080 13.327 15.007 17.802 17.680 18.134 17.867 16.95 14.00 14.				Н			131 629	126 313	130 771			120 249	113 473	107 967	106 225	104 542	103 719	103,568
特 別 科		経																16,954
特別損益 (F)-(G) (H) 104 人49 9.995 11.050 10.080 13.327 15.007 17.802 17.680 18.134 17.867 16.95 機 超利益(異大) (E)-(H) 10.584 14.484 9.995 11.050 10.080 13.327 15.007 17.802 17.680 18.134 17.867 16.95 機 超利益(現金) 2 は累積欠損金(I) 108.110 97.737 82.978 61.717 64.249 63.151 69.713 79.693 86.213 85.317 84.630 89.44	特			利	益	£ (F)		,	,	,	,	,	,	,	,	,	,	,
特別損益 (F)-(G) (H) 104 人49 9.995 11.050 10.080 13.327 15.007 17.802 17.808 18.134 17.867 16.95 2 1 2 素 検 対 金 火 は 素 検 欠 損金 (I) 10.584 14.484 9.995 11.050 10.080 13.327 15.007 17.802 17.808 18.134 17.867 16.95 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	特		別	損	j	€ (G)	40		49									
機越利益剰余金又は累積欠損金(1) 流 動 資 産(J) 108,110 97,737 82,978 61,717 64,249 63,151 69,713 79,693 86,213 83,317 84,630 89,44					(F	F)-(G) (H)			△ 49									
競賣 資産 (少) 108.110 97.737 82.978 61.717 64.249 63.151 69.713 79.693 86.213 85.317 84.630 89.44 流 動 負債(K) 65.251 68.943 74.590 73.496 75.182 76.573 68.204 65.464 58.021 51.348 45.728 36.61 方ち建設改良費分(50.675 63.739 65.569 67.466 69.423 71.338 62.935 60.147 52.692 45.989 40.339 31.16 方ち無掛金 2.266 2.734 6.349 3.257 2.854 2.300 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>10,584</td><td>14,484</td><td>9,995</td><td>11,050</td><td>10,080</td><td>13,327</td><td>15,007</td><td>17,802</td><td>17,680</td><td>18,134</td><td>17,867</td><td>16,954</td></t<>							10,584	14,484	9,995	11,050	10,080	13,327	15,007	17,802	17,680	18,134	17,867	16,954
5 ち 末 収 金 1,306 1,276 2,198 1,487 1,195 1,300 1,30	繰	越:		金又														
無 負 債 (K) 65.251 68.943 74.590 73.496 75.182 76.573 68.204 65.446 58.021 51.348 45.728 36.60 55 生 設 改 良 費 分 60.675 63.739 65.569 67.466 69.423 71.338 62.935 60.147 52.692 45.989 40.339 31.16 55 ー 時 借 入 金 5 未 払 金 2.266 2.734 6.349 3.257 2.854 2.300 2.	流		動															89,495
うち建設改良養分 60,675 63,739 65,569 67,466 69,423 71,338 62,935 60,147 52,692 45,989 40,339 31,16 うち 時 借 入金 2,266 2,734 6,349 3,257 2,854 2,300 2,300 2,300 2,300 2,300 2,300 2,300 2,300 果 積 欠 損 金 比 率 ((1) (A)-(B) × 100)			±'															1,300
うち 一 時 借 入 金 2,266 2,734 6,349 3,257 2,854 2,300 2,3	流		動	i														36,606
方 ち 未 払 金 2,266 2,734 6,349 3,257 2,854 2,300 2,30					<u> フ </u>	<u> </u>	60,675	63,/39	65,569	67,466	69,423	/1,338	62,935	60,147	52,692	45,989	40,339	31,187
果 積 欠 損 金 比 率 ((1) (A)-(B) ×100)					<u> ラ ケ ー</u>	<u> </u>	0.000	0.704	6.040	0.057	0.054	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
# 預 欠 損 並 比 単 (-						2,266	2,/34	0,349	3,257	2,854	۷,300	۷,300	۷,300	2,300	2,300	2,300	۷,300
置業収益一受託工事収益 (A)-(B) (M) 126,194 125,690 123,723 122,552 108,184 107,270 118,603 117,492 116,392 115,302 114,222 113,15	累	積	欠 損 金 .	比率((A) (D	×100)												
営業収益 - 受託工事収益 (A)-(B) (M) 126,194 125,690 123,723 122,552 108,184 107,270 118,603 117,492 116,392 115,302 114,222 113,15	地	5財	政法施行令	第15条第	1項により	算定した(ハ												
地 方 財 政 法 に よ る ((L)/(M)×100)			<u></u>	-	. ~_	ид												
資金不足の比率 (CL) (M) × 100) 健全化法施行令第16条により算定した(N) (M) 健全化法施行規則第6条に規定する(O) (M) 解消可能資金不足額(O) (M) 健全化法施行令第17条により算定した(P) 126,194 125,690 123,723 122,552 108,184 107,270 118,603 117,492 116,392 115,302 114,222 113,15 健全化法第22条により算定した (A)			7 益 一 受 託	工事収	L 益 (A	(M)	126,194	125,690	123,723	122,552	108,184	107,270	118,603	117,492	116,392	115,302	114,222	113,153
健全化法施行制第6条に規定する(O) 解消可能資金不足額(O) 健全化法施行令第17条により算定した(P) 126,194 125,690 123,723 122,552 108,184 107,270 118,603 117,492 116,392 115,302 114,222 113,15 健全化法第22条により算定した (A) (P) × 100)	次	4	지 모	Λ H	- 184													
健全化法施行規則第6条に規定する (O) 解 消 可 能 資 金 不 足 額 (O) 健全化法施行令第17条により算定した の 規 模 (P) 126,194 125,690 123,723 122,552 108,184 107,270 118,603 117,492 116,392 115,302 114,222 113,15 健全化法第22条により算定した (A) /(D) x,100)	貝		: 法 施 行 令 金 σ	, ,	l, Æ	行只												
健全化法施行令第17条により算定した (P) 126,194 125,690 123,723 122,552 108,184 107,270 118,603 117,492 116,392 115,302 114,222 113,15 健全化法第22条により算定した (A) (P) x 100)	健解	全 化	比 法 施 行 邦 1 可 能	規 則 第	6 条 に 規	定するの												
健全化法第22条により算定した (/N) //D) x 100)	健事		公法 施 行 令	第 17 条	により算	算定した (四)	126,194	125,690	123,723	122,552	108,184	107,270	118,603	117,492	116,392	115,302	114,222	113,153
		全化 金	法第22条に	より算定し <u></u> 比	した ×													

投資·財政計画 (収支計画)

(単位:千円)

															<u>(単位:十円)</u>
	/	年	度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	+ + +	D4 45 45	D. 4. #	50 fr fr	D7 45 45	D0 45 65	D0 /T #
	[区分		(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	本年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		1. 企 第	債					22,200	32,200	30,600	24,700	19,400	8,600		
	資 -	うち 資 本 費	平準化債					22,200	26,200	30,600	24,700	19,400	8,600		
	具「	2. 他 会 計	出 資 金												
資		3. 他 会 計	補 助 金												
	本「	4. 他 会 計	負 担 金												
		5. 他 会 計	借入金												
本	的	6. 国(都道府	県)補 助 金												
	יים די	7. 固定資産	売 却 代 金												
		8. 工 事 負							222						
	収	9. そ の) 他		13										
的		計	(A)		13			22,200	32,422	30,600	24,700	19,400	8,600		
	入	(A)のうち翌年度へ れる支出の財源充	繰り越さ (B) 当額												
		純 計 (A)-(B) (C)		13			22,200	32,422	30,600	24,700	19,400	8,600		
収	資	1. 建 設 🕏	良 費	17,050	13,040	11,018	10,384	9,405	15,480	8,395	7,762	7,902	12,091	10,226	8,888
		うち職員	. 給 与 費												
	本	2. 企 業 債	償 還 金	57,052	60,675	63,739	65,574	67,466	69,424	71,338	62,935	60,147	52,692	45,489	40,339
支	的	3. 他会計長期	借入返還金												
	支	4. 他 会 計 へ	の支出金												
		5. そ 0) 他												
	出	計	(D)	74,102	73,715	74,757	75,958	76,871	84,904	79,733	70,697	68,049	64,783	55,715	49,227
資本 不足		ス入額が資本的支出 額 (D)-(C		74,102	73,702	74,757	75,958	54,671	52,482	49,133	45,997	48,649	56,183	55,715	49,227
補		1. 損益勘定		47,859	45,945	45,372	45,869	46,540	44,298	40,688	38,175	37,489	37,153	37,161	37,138
塡		2. 利益剰余		24,980	26,792	28,570	29,321	7,276	6,775	7,682	7,116	10,442	17,931	17,624	11,281
	- [3. 繰 越 エ	事 資 金												
財	- [4. そ 0) 他	1,263	965	815	768	855	1,409	763	706	718	1,099	930	808
源		計	(F)	74,102	73,702	74,757	75,958	54,671	52,482	49,133	45,997	48,649	56,183	55,715	49,227
補	塡	財源不足額	(E)-(F)												
他	会	計 借 入 金	残 高 (G)												
企	-	業 債 歿	高 (H)	678,434	617,759	554,020	488,446	443,180	405,956	365,218	326,983	286,236	242,144	196,655	156,316

〇他会計繰入金

(単位:千円)

区	年 度 分	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R1年度 (決 算)	R2年度 (決 算)	本年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
収益的収													
	うち基準内繰入	. 金											
	うち基準外繰入	. 金											
資本的場													
	うち基準内繰入												
	うち基準外繰入	. 金											
合	計												